

## 【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

## 東久留米市立本村小学校 第3学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>市学力状況調査や市販のワークテストの結果から、漢字の習熟度に課題がある。漢字テストで80%程度得点できる児童が、50%にとどまる。新出漢字を漢字学習ノートに正確に書き写すことができていない児童も多い。</li> <li>市学力状況調査の結果から全国の平均と比較して、語彙力が十分でない児童が多く見られる。作文や日記においても、自分の考えなどを十分にまとめられない児童が60%程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の授業の最初の5分間に、漢字、音読などの基本的な学習内容を習熟する時間を設ける。</li> <li>新出漢字については書き順なども丁寧に指導する。既習漢字については、ふだんから積極的に使うようにして定着を図る。</li> <li>物語文や説明文において、語句の確認を行う際に、辞書などを使って、語句調べの時間を設ける。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>市学力調査の結果から、引き算の繰り下がりが定着していない児童が20%程度見られる。</li> <li>市販のワークテストの結果から、文章問題の理解が十分でない児童が30%程度見られる。知識を活用し、問題解決に繋げる能力が乏しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の時間の最初に5分間の計算練習の時間を設ける。単元に合わせた問題を取り扱い、計算練習を行って四則計算を基本とした計算力の向上を図る。(ワークテスト平均80点以上を維持)</li> <li>学習プリントを活用し、教科書以外の文章問題にも多く取り組み、知識の活用ができる力の定着を図る。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>市販のワークテストの結果から、知識を活用して判断したり表現したりするが能力が低い(60%程度)</li> <li>実験に意欲的に取り組むことはできるが、授業のワークシートの様子から、考察することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した知識をプリント等で何度も復習し、単元末のワークテストで70%以上取ることができるようにする。</li> <li>自分の言葉で実験結果やまとめを表現できるように、ノートやワークシートを活用する。80%以上記述することを目標にする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の東京都統一体力テストの結果において、東京都平均と比較した場合、特に「20mシャトルラン」において低い数値が見られた。</li> <li>「総合的な標準偏差」においても、全国7.56と比べ本校は4.96と大幅に低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な偏差において、全国偏差の数値7.56になることを目指す。そのために、様々な基礎的な体の動かし方を、毎時間の授業において導入に取り入れ強化していく。</li> <li>持久力の強化に努める。授業において、場の設定や授業展開の工夫を考え、運動量を増やせるようにする。</li> </ul>